

「住み続けたいまち」 「住んでみたいまち」へ

市発注工事をめぐる官製談合事件で現職の市長が逮捕され、
辞職を受けて執行された市長選挙で、三つどもえ戦を制し、
初当選した松本政博市長。
新しい南島原の実現に向けて、市長が語ります。

市長となって早急に 取り組みたいことは

一刻も早く、市民の信頼回復に努めたい。そのためには、今回問題となった入札制度改革を実行することです。

大きく分けて3点。

1点目は、地元企業の育成や雇用の観点から制限付一般競争入札を本格的に導入する。

2点目は、指名審査委員会の決定を市長が差し替えることができない仕組みにする。

3点目は、市の外部委員を主に、入札監視を行う入札検証委員会の設置をすることです。

とにかく、真っ先に取り組まなければいけないのが、これら入札制度改革から始めなければなりません。

その他、市政の課題解決に向け、どう取り組むか

選挙戦で市内各地を回り、空き家やお年寄りが多いこと

をあらためて実感した。本市で若い人たちの働く場を作らなければならぬという課題は大きい。

そのためにも農林水産業の一次産業、あるいは商工業など、市が何かしらのでこ入れをして、後継者が残れるような産業振興が必要だと思えます。また、収益性の高い産業振興をしなければなりません。

そしてもう一つは、企業誘致です。南島原出身者の中には市外で起業している人たちがたくさんいます。その多くの人たちは、ふるさとに何かしら貢献したいと思っています。その人たちに南島原に進出してもらい、雇用の場が確保できるのであれば、ありがたいと思えますし、その努力をしたいと思っています。

あと、若い人がここに定着してもらうために、現在行っている農業者を対象とした婚活事業の枠組みを広げ、職種



職員に訓示を行う松本市長

を問わない出会いの場を、市として提供しなければと考えています。

この他には、世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」や世界ジオパークがあるので、これら地域資源を活用した方策を模索していきます。

しかし、あれもこれもやるばかりではなく、必要な事業は引き続き取り組み、また見直しが必要な事業は取捨選択していかなければなりません。

4年間で取り組む内容

産業が元気になる重点施策

- ・ 厳しい競争に勝ち残れる農林水産業、製めん業、商工業を育成し、後継者が地元に残れる産業にします。

- ・ 農林水産物、日本酒、焼酎、味噌、醤油、蒲鉾、そうめんなど商品競争力のある特産品の販路拡大に積極的に取り組みます。
- ・ 地場産業がもっと元気に活躍できるように、設備投資等に支援します。

- ・ まちづくりと一体となった商店街の活性化に取り組みとともに、商業の振興を図ります。
- ・ 産業振興のため、基幹道路の整備、南島原市から高速長崎道に直結できるバイパスの建設促進に取り組みます。

地域の特色を生かした

まちづくりの重点施策

- ・ 地域コミュニティを守るため、地域で継承されている諸行事の支援をします。

- ・ 地域それぞれの振興策を策定し、積極的に支援します。

- ・ 現在活動中の「自治会連合会」の中に「地域運営協議会」を設置し、「まちづくり」を検討していただく。

- ・ 地域活性化のため、地域に貢献できる人材の育成や、学識経験者等の招へいによる研修会などを積極的に行い支援します。

人が元気になる重点施策

- ・ 若い人が元気に活躍できる「働く場」を用意するため、自ら先頭に立って企業の誘致に全力を注ぎます。

- ・ 教育・子育てを力強く支援します。学校等の統廃合が進んでおり、現行の支援がニーズにあっているかなど検討し改善します。

- ・ Iターン、Uターン者の増加に取り組みます。そのために耕作放棄地、休耕地、使用しなくなった施設、市営住宅の提供などの施策に取り組みます。
- ・ 高齢者が生きがいを持って安心して暮らせるように、行政サービスを充実させます。

文化の薫り高い南島原へ

南島原市に対する思いや、
どのような南島原市を
築いていきたいか

私は南島原市で生まれ、ずっとこの地に住んで今日まで過ごしてきました。そこで感じるのは、南島原市民には大きな力があるということ。だから、産業振興にしても文化振興にしても、市民の力が結集したら、もっと大きなものになるだろうと思いますし、面白い市の将来につながるだろうと思っていいます。私がいつも感じているのは、ここに住んでいる小さい子ども

からお年寄りまでが、もつこの地に住み続けたいと思うような町にしていきたいし、そのようにありたい。そして外から見た時も南島原に住んでみたいと言われるような心豊かな街にしたい。

まつもと まさひろ 松本 政博

昭和23年4月20日生まれ(66歳)
平成7年に加津佐町議会議員に初当選以後、合併まで3期務める。合併後の平成18年に南島原市議会議員に当選し、今年4月に行われた選挙において3期目を当選するも、市長立候補のため議員を辞職。7月20日から南島原市長に就任。
座右の銘は、『人間万事塞翁が馬』

